

答

ボランティアセンターの運営については、社会福祉協議会と年に2回の訓練を実施しており、課題や情報の共有を図っているほか、社会福祉協議会の職員に災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修へ参加していただくなど、人材の育成に努めている。また、近年の大規模災害を教訓に、現在、社会福祉協議会がボランティアセンターの運営に関するマニュアルの見直しを検討しており、今後、本市も積極的に見直しに関わりたいと考えている。

ボランティアセンターは、基本的に社会福祉協議会本所又は支所に設置されるが、災害の状況に応じて場所を確保することとしており、市職員の派遣によって被災情報の提供や災害対策本部との連絡調整を行うほか、ボランティアセンターの運営に必要な人員が確保できない場合も人員を派遣することとしている。

今後も、ボランティアセンターの早期設置と適切な運営に向け、社会福祉協議会や関係団体と情報共有を図ることと連携を密に取り組みたい。

西条市民

クラブ

一般質問

4年間の施策の総括と

今後の展望は？

問

市長は、就任当初から市政の主役は市民であり、市政の原点は市民総参加であるとの基本姿勢を明示し、あらゆる機会を捉えて市民の声に真摯に耳を傾け、まちづくりに取り組んできた。これまでの1期4年間で取り組んだ各種施策の総括について問う。また、今後の市政運営は、どのような方針で臨むのか。

答

市長就任以来、一貫して市政の主役は市民であるという強い思いを持ち、市政運営に臨んできた。市民の皆さんとの対話やキャッチボールを心がけ、市政懇談会や移動市長室などにより、地域への語りかけや課題の把握に努めてきた。こうした積み

重ねが開かれた市政として定着してきているものと、大きな手ごたえを実感している。

これまでの取組として、総合6次産業を核とする地域経済活性化策や、道前平野地区国営ほ場整備事業の実施、ふるさと納税による自主財源の確保、石鎚縦走体験ツアーなどの観光振興、中学生以下の医療費完全無料化、全小・中学校への電子黒板の導入、公共施設の耐震化、いきいきバス・デマンドタクシーの導入など各種施策を積極的に展開してきた。

今後とも、市民や議会とともに心をつなげたまちづくりに邁進し、西条市民憲章にもあるように、人づくり・ものづくり・励み、未来の西条市につなげていけるよう、全力で市政運営を行っていききたい。

合併処理浄化槽維持

管理費の格差是正を！

問

合併処理浄化槽の維持管理費と公共下水道使用料の格差を是正するために、早急な対応が望まれているが、

どのような検討がなされているのか。

答

合併処理浄化槽と公共下水道の維持管理費の格差是正に向け、現在、さまざまな観点から検討を行っており、その一つとして、合併処理浄化槽の維持管理に対する補助制度が効果的な方法であると考えている。内容としては、浄化槽法などに義務付けられている年1回の法定検査及び清掃並びに保守点検を実施した浄化槽管理者（浄化槽設置者）に対して、合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付するよう、関係部署と検討・協議を進めている。補助内容の検討に当たっては、維持管理に対する補助金を交付している愛媛県内の他市の事例を参考としたい。

現在、合併処理浄化槽を新設する際には、設置補助金を交付して浄化槽管理者の負担の軽減に努めているところであるが、各種補助金の見直しを検討・実施している状況の下での補助制度の新設となるため、設置補助金の見直しも含め、検討していきたい。

青風会

一般質問

歴史的文化財の

整備と利活用は？

問

貴重な歴史的文化財である遍路文化の保護について、市民意識の醸成を図る必要があると思うが、どのように取り組んでいるのか。

また、今後、遍路道が世界遺産に登録される可能性があり、多言語表記による道しるべの整備が必要になってくると思うが、どのように整備しようと考えているのか。更に市内には、どのような国指定史跡が存在し、これらの保存や今後の利活用については、どのように考えているのか。

